

プロのプレーに魅せられて

4年ぶりにプロバスケットボールの試合が開催

11月29日・30日、市総合体育館で日本プロバスケットボールリーグ（TKbjリーグ）の公式戦が行われ、福岡県を本拠地として活動している「ライジング福岡」が「仙台エティナイナース」と対戦し、迫力あるプロのプレーを間近で見ようと、両日あわせて約2,000人の観客が詰めかけました。

今回は、いずれの試合も「ライジング福岡」が残念ながら惜敗する結果となりましたが、試合中、選手のシュートが決まるたびに、観客席からは大歓声が沸き上がっていました。

「ライジング福岡」のジェームス・ダンカンヘッドコーチは「試合には負けてしまったが、チームが最後まで戦い抜いたことはよかった。練習を一から頑張ります」と話しました。



▲「ライジング福岡」のキャプテン徳永林太郎選手の華麗なドリブル



第3巻
147頁

私たちのことを私たち抜きで決めないで

人権週間講演会2014

11月29日、福岡県立大学講堂で「人権週間講演会 2014」が行われ、約200人が参加しました。

司会を後藤寺中学校放送部の中山愛友奈さんと生永実菜さん（いずれも1年）が務め、オープニングでは、福岡県立大学卒業生のfucchiE（フッチー）さんが手話を交えた歌を披露。全国中学生人権作文コンテスト福岡県大会で入賞した弓削田中学校1年の二場晴香さんが表彰された後、きょうされん常務理事の赤松英知さんが、先進国であるイタリアの事例を紹介しながら、障害者権利条約について解説しました。

赤松さんは「差別を受けている当事者や少数派の意見、願いにしっかり耳を傾けていくことが大切」と訴えました。

▲「差別をなくすために変えるべきは、個人の意識か社会のあり方が考えてほしい」と問題提起する赤松さん

市庁舎敷地内喫煙所が1か所に

マナーを守って気持ちよく

12月2日、新たに設置された喫煙所の施設整備に協力したとして、市たばこ販売店会への感謝状贈呈式が市役所で行われ、同会の関係者7人など約20人が出席しました。

同会の協力により、新たな喫煙所には市庁舎外壁との隔壁が設けられたほか、ベンチやテーブルなども設置され、美観を損なわないよう配慮したものとなっています。

同会を代表して感謝状を受け取った原吉徳さんは「この喫煙所を整備することで、喫煙者も禁煙者も健康に過ごせるよう分煙化が進んでほしい」と話しました。

なお、今回の整備により市庁舎敷地内の喫煙所は1か所となります。みなさんのご理解ご協力をお願いします。



▲完成した喫煙所の前で、感謝状を受け取る原さん